

母校常盤高等学校では、3月1日(金)、大変温かい雰囲気の中で第76回卒業式が行われました。

卒業式に先立ち、2月29日(木)に、母校南体育館にて、校長先生、教頭先生、事務長様、卒業生担任2名、同窓会長、校内事務局2名の出席のもと、卒業生72名（男子29名、女子43名）の入会を祝う同窓会（常盤会）入会式が行われました。

増川校長先生から「今までみなさんは、家族や地域の方々、そして常盤会のみなさまから支えられ卒業を迎えることができました。今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを持ち続け、人生を歩んでいてもらいたいと思います。そして、卒業後はみなさんが同窓会員として、母校生徒を支え、母校の発展に努め、ここ柏崎地域を担っていく人材になることを期待しています。」とのお祝いの言葉をいただきました。

小林会長からは「同窓会は、同じ学校を卒業した者同士が、母校に対する感謝の気持ちを共有して親睦を図りながら、現在の母校に貢献する会だと思っています。幹事の方だけでなく、大勢の皆さんが同窓会活動に参加して頂きたいと思います。そして、皆さんには来月から、それぞれの就職先や進学先で、活躍していただき、そして将来は、母校がある柏崎を担って行く存在になる事を期待しております。」とのお話がありました。

続いて、新入会員を代表して、水落優さんから、76回生幹事としての頼もしい決意表明がありました。

最後に学校側より、同窓会から卒業生に卒業証書ホルダーが贈られたことの紹介と報告がありました。なお、当日付の同窓会幹事の委嘱状が各クラスより選出された計4名に交付されました。

同窓会25,621名に、76回生72名の仲間が加わり、25,693名の大きな会となりました。この大きな力を結集して会員相互の親和向上を図り、母校の発展を応援していきたいものです。76回生の皆様のご多幸をお祈りしますとともに、常盤会における活躍を心から期待しています。